

かたむり通信

第13号



発行:2014年7月17日
しながわチャイルドライン
運営委員会
品川区東大井5-14-3
TEL/FAX
03-5462-2868

「ドキュメンタリー映画『隣る人』上映とトークの会実施」にあたって

「隣る人」上映実行委員会代表 浅川 周二

しながわチャイルドラインではこどもの声を聴く活動とともに地域に発信することも大切にしています。

昨年は水谷修氏講演会を品川の子どもに関わる多くの団体と共に実施することが出来ました。

今年もこの絆を深めると共に、子どもたちの住みやすい街を目指して、ドキュメンタリー映画「隣る人」の企画を実施することとなりました。

この題目を見た時、「隣り人を自分のように愛しなさい」との言葉が思い浮かびました。「隣る人」となるには子どもをすきになり愛することで、自分の心の中に、子どもの居場所を作ることです。

この事は自分の心の一部を、子どもに明け渡すことによって、可能になります。人は自分の存在を認められて、人と繋がることで、生きて行けると思います。隣り人になる為に、一番大切な事は悩みや苦しみの中にある、子どもたちに寄りそって、子どもの居場所になることです。

「隣る人」の上映会を通して、子どもに寄り添う事を学び、「隣り人」を増やしていき、子どもたちがより住みやすい社会を、作りたいと思います。

隣る人
never let me go.

「血がつながってなくてもいい、
血がつながっていてもいい。
自分を大切に想ってくれる人がいることを
子どもが知り、大人がそのことを子どもに
伝えようと思えますように」



稲塚由美子(『隣る人』企画者)

『隣る人』は児童養護施設「光のこどもの家」で暮らしに密着してその葛藤の日々、8年間を描いた映画です。最初は家族の日常が、そして徐々にいろいろなことが起こってくる。そこから見た方が、いろいろなものを拾ってくださればよいと思っています。

チラシにある『誰もひとりでは生きられない』という言葉にはいろいろな意味があります。児童養護施設の話だけでなく、お年寄りのこともあるし、友達同士だってあると思う。

誰かが誰かをひとりの生きている人間として目をやる、心をかける。そのことが人を生かすことになるということを感じていただければよいなと思います。

～第30回 女のしゃべり場(2014. 4. 14)ゲスト稲塚由美子さんをお迎えして～パンフレットより抜粋～

映画「隣人」上映実行委員会に参加して

NPO法人品川こども劇場 三上 祥子(みかみ しょうこ)

品川こども劇場は、38 年前にテレビに向きがちなわが子、友達、さらに地元品川の子も達に生の演劇を
みせたい、と子育て中の親たちが作った任意団体で、長い間会員制の会として運営していました。

しかし活動を続ける中で会員のみならず、品川子どもたちすべてに文化を届けたい、との思いで法人格を獲得し現在に至っています。

品川こども劇場が法人格を獲得し地域の活動に参加することで、ここ数年は地域で活躍している様々な方たちや、団体と出会う機会が増え、いろいろな方面で品川を良くしようとがんばっている方がいらっしゃるのを改めて実感しています。

そして、そんな縁から昨年度の水谷先生の公演会に引き続き、本年度も映画「隣人」上映実行委員会に参加させていただいてます。

皆さんの熱い思いと使命感に後押しをされながら、品川こども劇場で培ったスキルが少しでもお役にたてれば、と思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

「隣る人」上映へ向けて

教育サポートセンターNIRE 中塚史行

発達障害の子どもたちや、ひきこもりの若者たちなど、さまざまな背景や困難を持つ子ども・若者の支援をするNPOを主宰しています。「支援」というと、なんだかお互いの関係が水平でないような気がして、もっと「お互いさま」の関係でこの仕事ができないものかなあと感じていました。そんなとき「隣人」という映画を知り、まさにこのタイトルが私たちの仕事の立ち位置を言い当てていると思いました。

困難に直面している子どもや若者たちと向き合うとき、私たちはどうしてもまず「なんとかしなきゃ」と介入しがちです。それは悪いことではないのだけれど、かれらの自立を考え、社会の厳しさを乗り越えていくためには、「こういう力も必要」などという「心配」から世話を焼いてしまいがちです。もっと子どもたちや若者たちの持つ力を信じて、かれらを信じ、かれらの力が発揮できる社会づくり、地域づくりにこそ力を注ぐのが、私たち大人の役割なのかなと思います。「隣人」を観て、一緒に考えていきたいと思っています。



☆2014年7月22日(火)

14:00/19:00(開場各回 30 分前)

品川区総合区民会館きゅりあん小ホール(JR・東急大井町駅そば)

・参加費 500 円

・保育＝昼の回のみあり(事前予約)1500円

・手話通訳＝夜の回のみあり

☆各回上映後には児童養護施設「光の子どもの家」理事長、菅原哲男氏
 &この映画の企画者、稲塚由美子さんのトークを予定しています。

* 詳細、お申込みについては下記までお問合せください

☆主催:「隣る人」上映実行委員会・NPO法人しながわチャイルドライン

後援: 品川社会福祉協議会・品川区・品川区教育委員会

助成：東京都協同募金会

☆問合せ:NPO法人しながわチャイルドライン事務局

03(5462)2868

kikumimi-p@outlook.jp

子どもの心を受け止める

～聴いてもらうことの意味～

主 催 NPO 法人 しながわチャイルドライン
後 援 品川区 品川区教育委員会

募集要項は裏面をご覧ください。



回	テ ー マ・内 容	講 師	日 時	会 場
1	チャイルドラインとは？ 開校式 チャイルドラインとはどんなボラン ティア活動なのでしょう。	しながわチャイルド ライン スタッフ	10月1日 (水) 19時～21時	(荏原第五区民集会所 東急大井町線 下神明駅 徒歩二分)
2	「聴く」ということ 名前も顔もわからない子どもの話を聴くことが活動の中心です。アドバイスはなるべくせずに「聴く」ということは・・・？	末松 TA コミュニティ研究所所 長 臨床心理士 末松 渉氏	10月8日 (水) 19時～21時	
3	子どもの人権ワークショップ 体と心をめいっぱい動かしながら、子どもの 人権を 考えてみましょう。	NPO 法人あそび環境Myuse umアフタフ・バーバン 代表理事北島 尚志氏	10月15日 (水) 19時～21時	
4	お互いを知るワーク 学んだことを振り返りながらお互いをもっと よく 知ってみましょう。	しながわチャイルド ライン スタッフ	10月22日 (水) 19時～21時	
5	子ども達の「性」 「性の話し」いのちを営む中で私たちは性をどう 捉えたら良いのでしょうか？	明星学園小学校教諭 川松 泰美氏	10月29日 (水) 19時～21時	
6	虐待を受けた子どもに寄り添う 児童虐待と実態を知り、傷ついた子どもにどうの よう に寄り添ったらいいのかを学びます。	社会福祉法人 子どもの虐待防止センター 理事長 松田 博雄氏	11月5日 (水) 19時～21時	
7	公開講座 よみがえる子どもの輝く笑顔 チャイルドライン、冒険遊び場活動の第一人である天野氏は、 「遊びには自分を育て、癒す力がある」と・・・	大正大学特命教授 NPO法人日本 冒険遊び場づくり協会 理事 天野 秀昭氏	11月12日 (水) 19時～21時	
8	チャイルドラインで あなたにできることは？ 講座を振り返りながら、考えてみます。	しながわチャイルド ライン スタッフ	11月19日 (水) 19時～21時	
9 10 11	「聴く」ということ 2 ロールプレイ「聴く」 より実践的に「聴く」ことについて学びます。	末松 TA コミュニティ研究所所 長 臨床心理士 末松 渉氏 他	11月26日 12月3・10日 (水)19時～21時	

募集要項

対象 しがわチャイルドラインの「サポーター」や「受け手」
に、興味のある16歳以上の方

公開講座は、テーマに興味のある方

※ サポーター 自分ができる範囲で、活動を支えたり
応援してくれる人

※ 受け手 子どもからかかってくる電話を受け、子どもに
寄り添い話を聴き、一緒に考える人

定員 通し参加 20名 公開講座 50名

参加費用 全11回 一般6,000円 学生3,000円
(初回に受付でお支払いください)

公開講座のみの場合 600円

申し込み方法 メールか往復はがきに、11回通し参加か、公開講座のみ
参加かと、氏名、年齢、郵便番号、住所、電話、(あれば)
メールアドレスを明記し、下記までお申し込みください。
折り返し、お返事をさせていただきます。

申し込み締切 申し込み先着順

※ 通し参加最終締め切り 9月24日(水)

※ 公開講座は事前に定員に達していない場合
当日会場受付で申し込み、参加できます。

申し込み・問い合わせ先

NPO 法人しがわチャイルドライン

住所: 〒140-0011 品川区東大井5-14-3

E-mail: sinagawachildline@hotmail.com

TEL/FAX: 03-5462-2868

しがわチャイルドライン現況

会員数(48名)

2013年度総受信数3719件

フリーダイヤル2126件

直通ダイヤル1593件

子どもから受電1363件

男の子から819件

女の子から405件

不明 139件

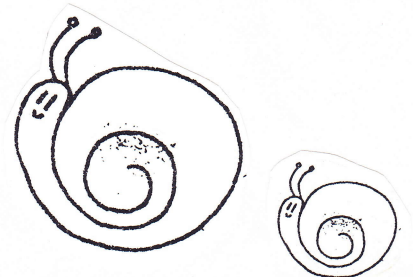
会話成立1153件

◎全国の総発信数706503件

全国の総着信数205091件

平均通話時間5分52秒

10分以上の通話36002件



チャイルドラインとは?

チャイルドラインは、18歳までのこどもが、悩んでいることや誰かに聴いてもらいたいことなど、どんなことでも話すことのできる電話で、全国各地にあります。

しがわチャイルドラインの歩み

しがわチャイルドラインは13年前に活動を始め、10年前から毎週金曜日に常設開設するようになりました。毎週50本以上の電話がかかってきて、子どもの話に真剣に耳を傾けています。

毎週金曜日	開設	4時~7時	5781-8114
		7時~9時半	3494-8872
		4時~9時	0120-99-7777



◎~上映準備~上映~その後~♪ ~~~~~♪ ~~~~~♪ ~~~~~♪ ~~~~~◎

私の周りには、まっとうに仕事をし、ボランティアもし生き生きしている人がたくさんいてそんな方々に会うたびに感動をしています。今回はまた考えさせられ、感動するドキュメンタリー映画にも出会えました。

この映画を通して日々の暮らしを見つめ、語らいあえたら...そんなことがより居心地のよい居場所を作っていくんじゃないかなあ~と、上映もそしてその後もちょー楽しみです。

「隣る人」上映実行委員会 事務局長 小林けさみ